



2011年第1四半期 連結決算概要

中外製薬株式会社
常務執行役員 CFO
板谷 嘉夫

2011.4.21

将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

注：本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示
増減、%は億円単位で表示された数字で計算

2011年第1四半期 連結決算概要

- **売上高** 857億円：タミフル減により減少（▲1.6%）
 - タミフル：備蓄の一巡により減少
 - タミフルを除く国内製商品：主力のがん/骨・関節領域で7% 台後半の成長
 - 海外：円高と震災影響により2割減
 - その他の営業収入：GC33の導出一時金等により大幅増

- **営業利益** 156億円：売上総利益の増加により4割増
 - その他営業収入の増加を主因とする売上総利益の二桁増と販管費の前同水準維持により、大幅に増加

- **四半期純利益** 50億円：震災影響により4割減
 - 特別損失71億円、うち震災影響61億円

損益の概要 1-3月実績

【億円】	2010年 1-3月		2011年 1-3月		増減	
		売上 (%)		売上 (%)		%
売上高	871		857		▲14	▲1.6
製商品売上高	862		804		▲58	▲6.7
タミフルを除く	754		762		+8	+1.1
タミフル	108		42		▲66	▲61.1
その他の営業収入	9		53		+44	+488.9
営業利益	111	12.7	156	18.2	+45	+40.5
営業外収益	13		21		+8	+61.5
営業外費用	3		10		+7	+233.3
経常利益	121	13.9	167	19.5	+46	+38.0
特別利益	1		0		▲1	▲100.0
特別損失	0		71		+71	-
当期純利益	79	9.1	50	5.8	▲29	▲36.7

- 製商品売上高(タミフルを除く)
 - 国内 +22億円
 - 海外 ▲15億円
- タミフル* ▲66億円
- その他の営業収入 +44億円
 - GC33導出一時金
 - アクテムラ関連収入の増加 等
- 営業利益 +45億円
- 営業外収支の増加 +1億円
- 特別損失
 - 災害による損失 +61億円
 - 資産除去債務影響 +10億円

期中平均レート(円)

	2010年1-3月	2011年1-3月
CHF	85.80	87.30
EUR	125.58	112.36

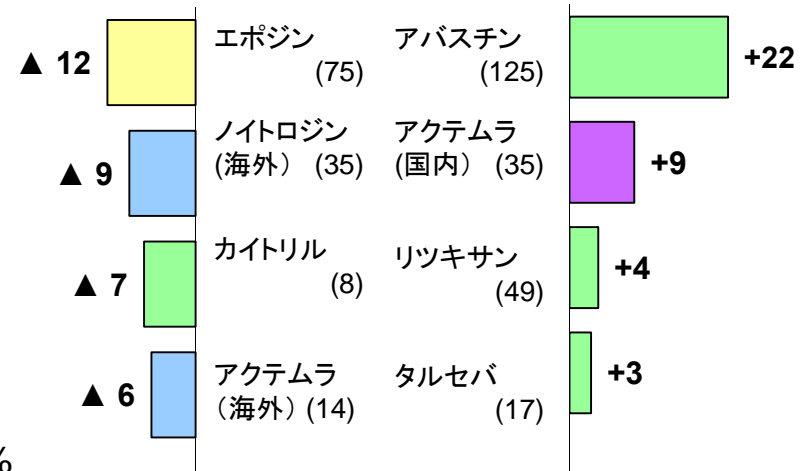
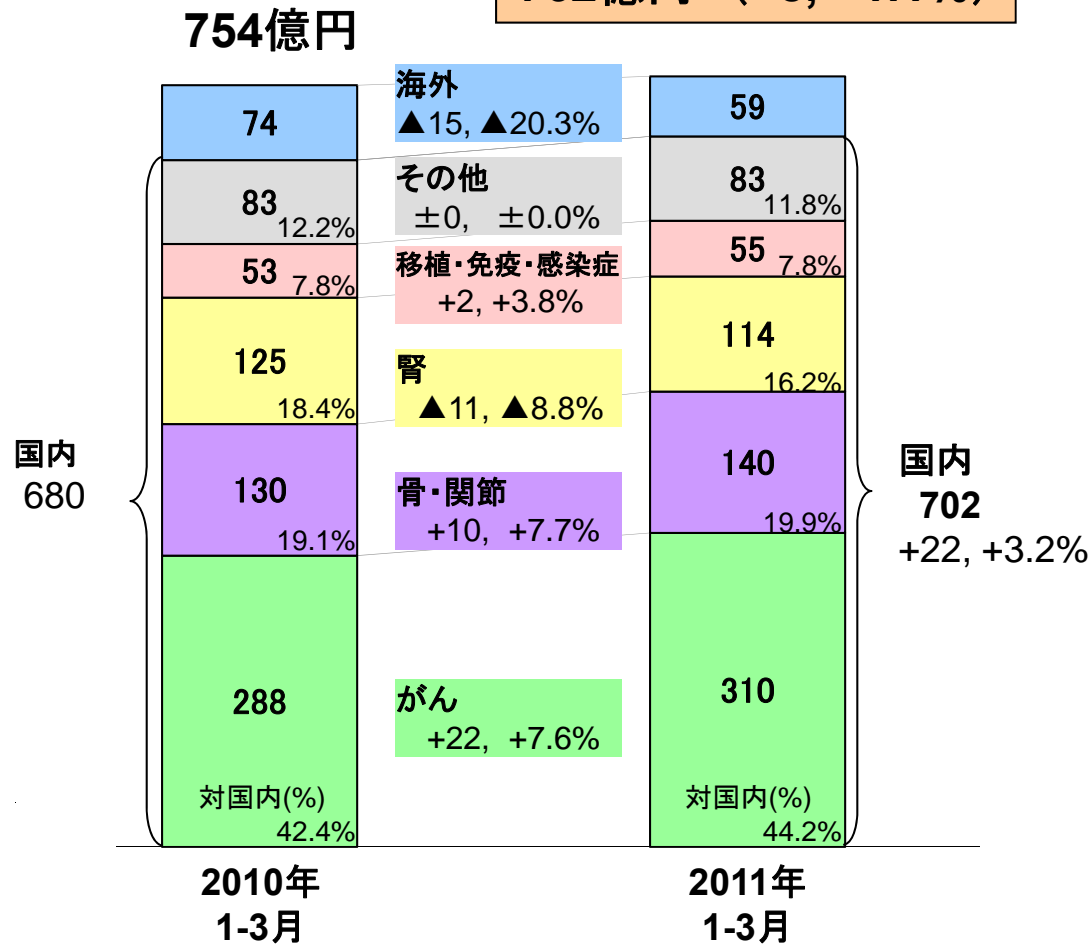
* タミフル 内訳

	2010年1-3月	2011年1-3月	増減
通常	14億円	37億円	+23億円
行政備蓄等	95億円	5億円	▲90億円

製商品売上高（タミフルを除く）の増減内訳 1-3月実績

【億円】

製商品売上高（タミフルを除く）
762億円（+8, +1.1%）



左図: 領域別
右図: 個別製品
(前年同期比、()内は2011年実績)

タミフルの売上状況

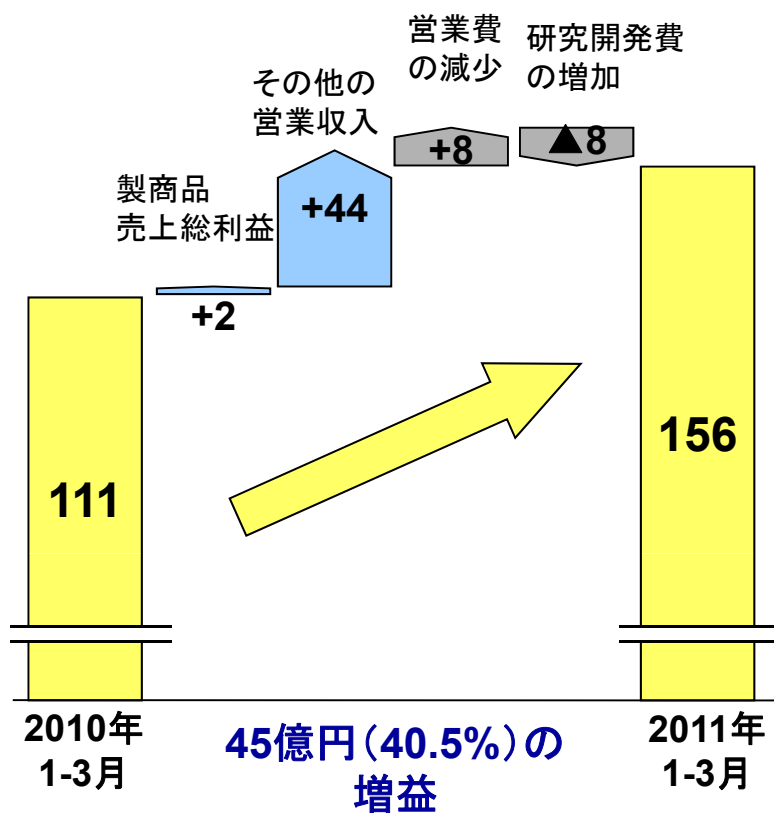
【億円】	決算期売上														シーズン 売上	定点観測数* (百万人)	
	2005年12月期		2006年12月期		2007年12月期		2008年12月期		2009年12月期		2010年12月期		2011年12月期				
	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-3月	4-12月			
通常	2004-05	232														246	1.47
	2005-06		119	99												218	0.92
	2006-07				37	50										87	1.01
	2007-08						52	14								66	0.66
	2008-09								57	110						167	1.27
	2009-10										252	14				266	2.02
	2010-11												2	37		39	—
	2011-12														41		
通常	351 (+265)	136 (-215)	102 (-34)	71 (-31)	362 (+291)	16 (-346)	78 (+62)										
行政 備蓄等	2005-06		2	65												67	
	2006-07				179	189										368	
	2007-08					96	2									98	
	2008-09							11	144							155	
	2009-10									256	106					362	
	2010-11											59	5			64	
	2011-12													39			
行政備蓄等	2 (+2)	244 (+242)	285 (+41)	13 (-272)	400 (+387)	166 (-234)	44 (-122)										
合計	232	120	163	216	238	148	16	68	254	508	120	61	42	80			
	352 (+266)	380 (+28)	387 (+7)	84 (-303)	762 (+678)	182 (-580)	122 (-60)										

黄色の網掛けは予想値

* 国立感染症研究所「感染症発生動向調査」10月下旬から4月中旬(2009-10シーズンは2009年7月初旬から2010年3月中旬)の合計患者数

営業利益の増減内訳 1-3月実績

【億円】



【億円】	2010年 1-3月	2011年 1-3月	増減	
				(%)
売上高	871	857	▲14	▲1.6
売上原価	411	351	▲60	▲14.6
売上総利益	460	506	+46	+10.0
うち 製商品	451	453	+2	+0.4
うち その他の営業収入	9	53	+44	+488.9
営業費	228	220	▲8	▲3.5
研究開発費	122	130	+8	+6.6
営業利益	111	156	+45	+40.5

- 製商品売上総利益増加 +2億円
行政備蓄用タミフルの減少による原価率の改善
- 営業費の減少 +8億円
IT費、人件費の減少
- 研究開発費の増加 ▲8億円
開発テーマの進展(CSG452、T-DM1等の後期開発移行)

東日本大震災の影響

■ 被災状況

- 宇都宮工場(中外製薬工業)に大きな被害
- その他の工場、物流、研究所、仙台支店、郡山オフィスは軽微

■ 災害による損失（特別損失）：通期見込約90億円

- 建物・設備の除却、解体、修繕費用等 約50億円
- 棚卸資産損失等 約40億円

■ 復旧に関わる設備投資：約60億円

- 宇都宮工場 品質管理棟・事務厚生棟の再建築(2012年)
- 損壊設備・機器(研究機器含む)等の再取得

業績予想の修正内容

■ 特別損失のみ修正

電力供給の状況等の不確定要素はあるものの、売上・営業利益とも期初想定を維持

- 順次製造を再開しており、9月までの全面復旧を目指す
- 10月以降は通常通りの供給体制を見込む

■ 特別損失通期予想：計約100億円

Q1に計上済みの資産除去債務10億円と、災害による損失約90億円

■ 法人実効税率

繰延税金資産再評価による一時的な損失を見込む

- 期初の減税想定を維持

損益の概要

【億円】	実績	2011年1-6月予想			2011年1-12月予想		
	2011年 1-3月	2月2日 公表	今回修正	修正額	2月2日 公表	今回修正	修正額
売上高	857	1,900	1,900	+0	4,030	4,030	+0
製商品売上高	804	1,825	1,825	+0	3,917	3,917	+0
タミフルを除く	762	1,768	1,768	+0	3,795	3,795	+0
タミフル	42	57	57	+0	122	122	+0
その他の営業収入	53	75	75	+0	113	113	+0
売上原価	351				1,678	1,678	+0
売上総利益	506				2,352	2,352	+0
営業費	220				1,010	1,010	+0
研究開発費	130				592	592	+0
営業利益	156	340	340	+0	750	750	+0
経常利益	167	345	345	+0	755	755	+0
当期(四半期)純利益	50	170	125	▲45	425	370	▲55



Roche ロシュグループ

開発パイプラインの状況

中外製薬株式会社
R&Dポートフォリオ部長
高梨 契典

2011. 4.21

開発の状況ーがん領域、骨・関節領域

自社品

エディロール (ED-71)
骨粗鬆症 2011年4月 発売

自社品

ACTEMRA (米国)
若年性特発性関節炎 (sJIA) 2011年4月 承認

導入品

ゼローダ
胃がん 2011年2月 承認

導入品

ハーセプチン
胃がん 2011年3月 承認

開発の状況－移植・免疫・感染症、その他

導入品

ペガシス

B型慢性肝炎 2011年4月 優先審査に指定

導入品

taspeglutide (RG1583)

Ⅱ型糖尿病 開発中止

*導入元のロシュが開発権利をイプセンに返還したため

お問い合わせ先：広報IR部

報道関係者の皆様：広報グループ

Tel : 03-3273-0881

e-mail : pr@chugai-pharm.co.jp

担当：相川、広瀬、荒木、宮田

投資家の皆様：IRグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : ir@chugai-pharm.co.jp

担当：内田、渡辺、時田、喜多村